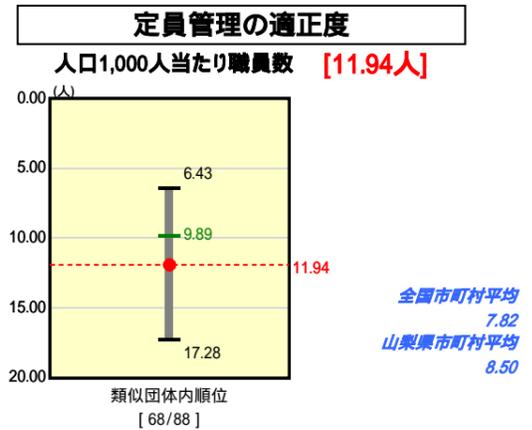
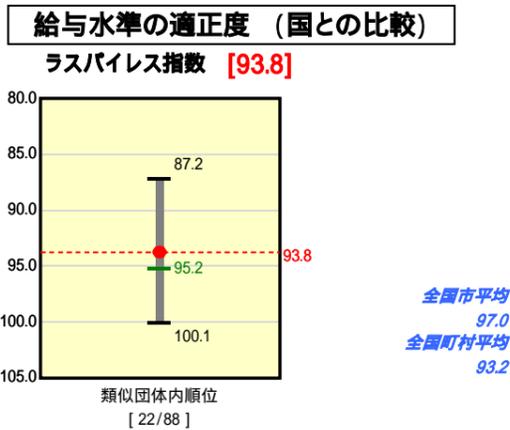
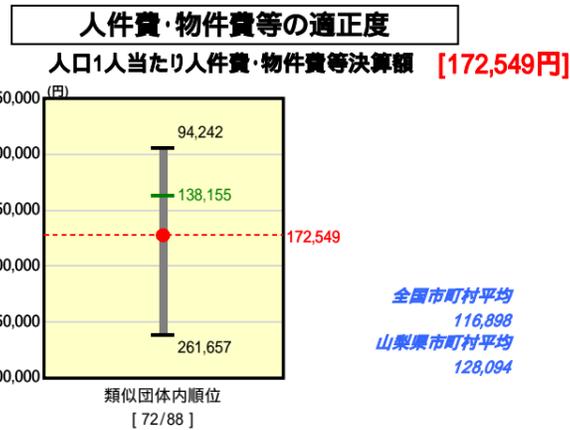
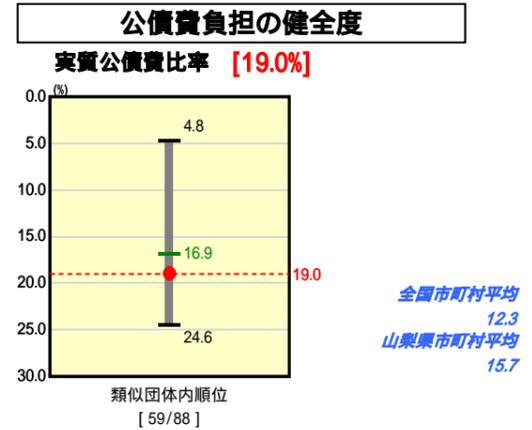
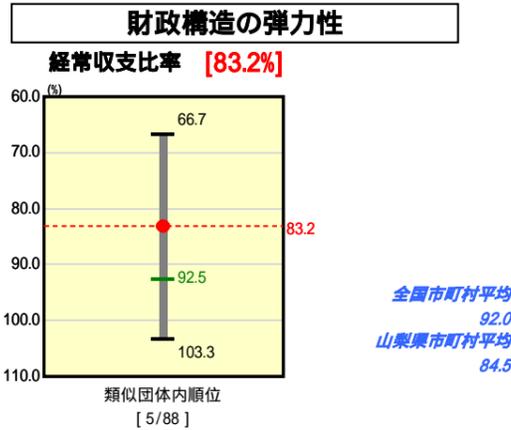
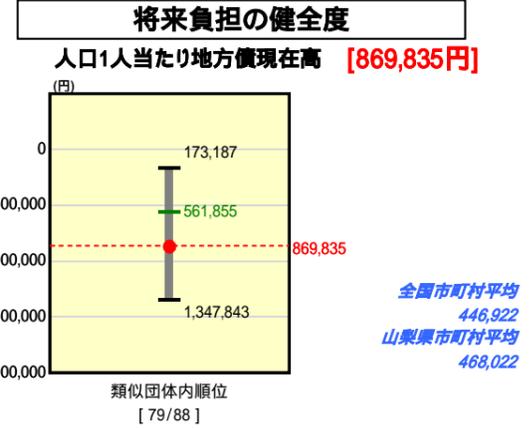
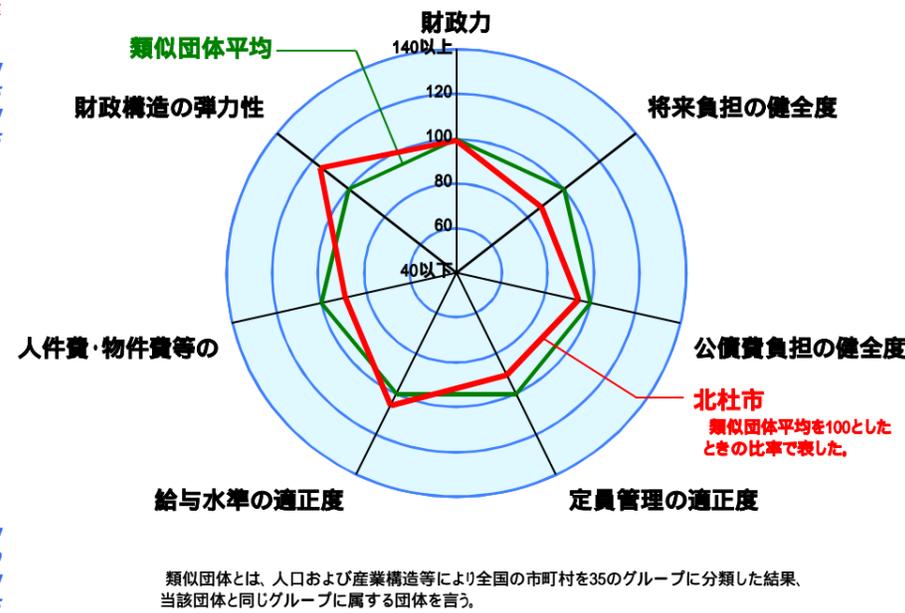
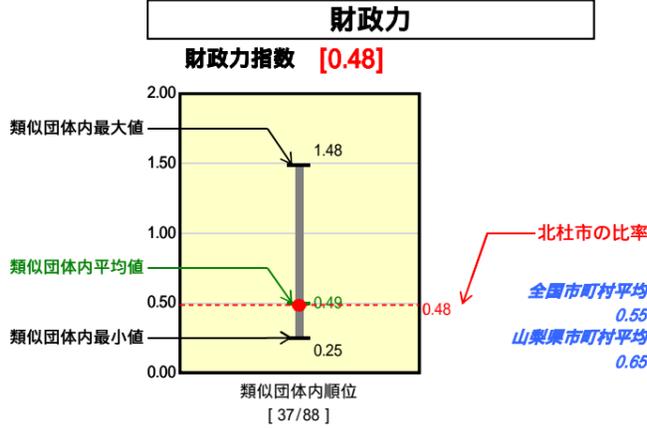


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

山梨県 北杜市

人口	49,502 人(H20.3.31現在)
面積	602.89 km ²
歳入総額	30,299,742 千円
歳出総額	29,127,768 千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】：基幹産業が少なく財政基盤が弱いため、類似団体の平均を0.01%下回っているが、ここ数年間上昇傾向にある。今後とも税の徴収業務の強化による徴収率の向上や、企業誘致を進め、歳入の確保に努める。

【経常収支比率】：公債費の増加、臨時財政対策債の減少及び減収補てん債の終了に伴い、前年度と比べて0.6%上昇しているが、類似団体の中では、上位に位置している。

【人口1人当たり人件費・物件費等の決算額】：8町村での合併により類似する公共施設が多く、職員数が多いことから、平均値を上回っている。人件費については、定員適正化計画に基づく職員数(H27年度末・747人)を目標に集中改革プランの見直しを行い、より一層の削減を行うこととし、物件費については、H18年度から導入した指定管理者制度による削減や公共施設の統廃合により、一層のコストの低減を図っていく。

【ラスパイルズ指数】：前年と同数値であり、全国平均を下回っている。今後、人事評価制度を導入し、その後、処遇にも反映

【実質公債費比率】：生活環境の整備として、下水道事業や簡易水道事業に重点的に取り組んできたことや、過疎債や一般単独事業債等の多額の地方債の発行を行って地域の課題に対応してきたことから、類似団体平均を上回っている。今後も元利償還金は増加し、実質公債費比率が上昇することから、公債費適正化計画に基づいて、公共事業の見直しを行い、市債発行の抑制、繰上償還、借換債等を実施していく。

【人口1人当たり地方債現在高】：類似団体平均を大幅に上回っている。このため、市債の発行額を当該年度の元金償還額の範囲内にするなどの新規発行市債の抑制、繰上償還及び借換等を行い減少に努めるなどした結果、減少傾向にあり、前年度と比べて3.0%減少している。今後も、財政運営の一層の効率化により減少に努める。

【人口1,000人当たり職員数】：8町村での合併であったため職員数が多く、合併時から退職者の補充減等により削減を行っているため、職員数は、前年から減少しているものの、全国平均を上回っている。